



## 建設業新分野進出販路開拓セミナー開催のご案内

- 平成26年12月4日（木） 13:30～15:30
- 十勝総合振興局 4階 C会議室
- 定員15名（参加料無料）

本道の建設企業が新分野事業に取り組む中で、販路開拓が大きな課題となっていることを踏まえ、販路開拓のヒントと一助となるセミナーが開催されます。

新分野に、実際に取り組んでいる企業の話がなされますので、是非ご参加ください。

- ◆申込締切 11月28日（金）
- ◆問い合わせ 振興局 建設指導課土木係 ☎0155-27-8540

### ◀ プログラム ▶

- ①新分野進出企業による事例発表  
北海道道路保全(株) 取締役音更支店長  
高橋 護 氏
- ②新商品開発及び新規出店のためのマーケティング  
(株)アイ・ピー・エス 代表取締役 八田 裕二 氏

## H26年度「農商工連携ファンド事業」 2次募集（11月14日締切）

農林漁業者と中小企業者の連携体に取り組む北海道の農林水産資源を活用した新事業に対する助成を通じて、「食」「観光」「ものづくり」分野での新商品開発・新サービスの開発等の取組みを加速させることを目的として創設されたものです。

1. 助成対象事業 「事業化推進事業」  
※単なる原材料供給などの通常取引は除外されます。
  2. 助成限度額 200万円以内/年（機械等開発500万円以内）  
※助成期間は3年以内・継続助成を保証するものではありません。  
※助成金は実績報告と実地検査終了後の「精算払い」となります。
  3. 助成率 食分野（2/3以内）・その他（1/2以内）
- ★応募方法 募集要項に従って、「事業計画書」と「添付書類」の提出が必要です。（計画説明、評価委員会による審査なども申請後ございます）

### ◆募集要項・事業計画書のダウンロード◆

北海道商工会連合会 <http://www.do.shokoren.com>

- ★問合せ 道商工連 企業支援課 ☎011-251-0102又は商工会へ

## 小規模企業共済制度 〈全国加入促進強調月間〉 10月1日～11月28日

小規模企業の個人事業主、個人事業主の共同経営者・会社等の役員に対する退職金制度として、「**小規模企業共済制度**」が運営されております。現役引退後の生活資金、廃業したときに備える資金として確保することができます。

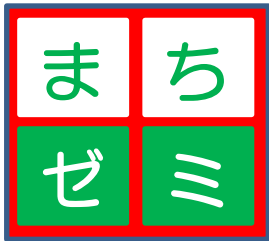
- ◀加入対象▶ ①常時使用する従業員の数が20人（一部業種5人）以下の個人事業主など。  
②加入時の年齢の上限はありません。
- ◀掛金▶ 毎月 1,000円から70,000円までの500円単位で自由に設定できます（増減可）

### ◀メリット▶

- 課税対象所得から、全額控除（その年に支払った掛金分）
- 共済金受取時にもメリット 一括受取の場合には「退職所得扱い」、分割受取の場合には「公的年金の雑所得扱い」となるため、節税効果があります。

### ◀注意▶

- やめられる事由により、加入後12ヶ月以内は掛け捨てです。
- 掛金納付月数が**240か月未満で任意解約**すると、共済金（解約手当金）の受取額は、掛金納付合計額を下回ります。



第1回 お店の人が教えてくれる！出張ゼミナール 10月28日（火）開催  
 時間：13:00～14:00 会場：ROCO（ココ） \*保健センターの北側です。  
 今回は、初めての開催ですので“お店の講師を4名体制”で臨みます！  
 9月24日に本郷商店街理事長の講話、そして10月22日にリハーサルなどタイトなスケジュールで  
 開催致します。この事業は、まず、**お客様のお役に立つこと**で『**お店や商店街**』のファンづくりを目指  
 しております。会員（特にお店）の方は、是非この機会に、「**次回講師**」として学んでいただければ幸いです。

歳をとってもおしゃれは大事 講師 浦島志美子  
 LEDで省エネ 講師 横田 優

布団あれこれ 講師 田村 雅史  
 タブレットとは何ぞや？ 講師 稲守 篤也

## 『住みたい町、子育て支援 日本一』を目指す 東川町の視察レポート

≪10月18日観光・サービス業部会視察の一部をご紹介≫

**東川町のデータ** 旭川から車で約20分の距離に位置する水田、畑作地帯。人口は7,857名です。（24年前より人口が約440名増加している町です） 参考:池田町は、-2,479名人口減です。

①**移住・定住** →**グリーンヴィレッジ87区画**（市街地分譲地）  
 特徴は、旭川より7割、札幌他道内域が3割の転入者が占める住宅地。

景観指針があり、屋根の形、壁材の指定、苗木による緑地化等が条件。日陰対策として、緑地による空間スペースが設けられており、北側から売れていくという状況。遊歩道の設定の仕方も景観デザインを配慮しているため、住んでみたい！という印象を受けました。

→**友遊団地16区画**（郊外型分譲地）

道外移住者の方が、カフェ・工房を営んだり、定年後のライフを楽しむ住宅群です。

※**建築緑化協定が不要な分譲エリアも3ヶ所（187区画）**



☆泥んこ遊びや自然体験を意識した外溝設計  
 （外溝設備は、まだ、工事中でした）

### 東川町の特徴は

- ①**住みやすい町**（定住対策）**日本一**を目指しております。
- ②**子育て支援** **日本一**を目指しております。
- ③水道料無料（地下水による天然ミネラルウォーターです）
- ④“写真の町”で知名度アップしております。（写真甲子園他）

★移住・起業関連については、定住促進課が窓口となり、創業資金の助成、空き店舗の積極的紹介（**住んでいる方がいる場合、引っ越してもらいその物件を利用していただく等**）体験住宅や周辺環境の宣伝、紹介が行き届いております。

★**緑化協定にて、苗木、大表札、地元材車庫が**

**助成される！**



★**日陰対策の広い緑地**

②**東川小学校と地域交流センター（オープンスペース）**  
 子供と地域の方が触れ合うスペースとして、多目的ホール、芸術催事スペース、学童、料理教室ほか地域交流センター側に設定され、各教室エリアと体育館まで全長270mの渡廊下で繋がっている施設です。総工費38億で建設されたことです。

（特徴）

- ★各学年2クラスですが、交流空間としての活用や将来的な小人数による3クラス学級を予測し、3スペース分を確保しております。
- ★ランチルームでは、1年から6年生までの中で、「縦割り班」を設け、給食を食べるようにしております。
- ★いじめ、体罰等の問題が起きないように配慮し、廊下側からの仕切り・ドア等がない開放的なスペースとなっております。
- ★芸術品との触れ合い（アート作品展示や地元家具材の活用）

## 商工会月刊ダイアリー

11月

11/7(金)

永年勤続優良従業員表彰式

商工会館